

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : L-グルタミン酸キット「ヤマサ」NEO
 会社名 : ヤマサ醤油株式会社
 住所 : 千葉県銚子市新生町 2-10-1
 電話番号 : 0479-22-0095
 問い合わせ先 : 診断薬事業部 診断薬営業情報室
 電話番号 : 03-3668-8558
 FAX 番号 : 03-3668-8407
 緊急連絡先 : 問い合わせ先と同じ
 改訂日 : 令和 8 年 2 月 20 日 (第 3 版)
 SDS No. : YS-80128-E
 推奨用途及び使用上の制限 : 試験研究用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

アジ化ナトリウム

警告



環境有害性 : 水生環境急性有害性 ; 区分 11、水生環境慢性有害性 ; 区分 11
 その他の分類 : 非該当 (含有量が分類基準未満)

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

含有成分 :

構成試薬名	成分名	CAS No	化管法 ^{*1}	労安法 ^{*2}	毒劇法 ^{*3}	含量
R-1 試薬	水酸化ナトリウム	1310-73-2	—	—	—	0.1%未満
R-2 試薬	アジ化ナトリウム	26628-22-8	第一種指定 化学物質	—	—	0.1%以下
	水酸化ナトリウム	1310-73-2	—	—	—	0.1%未満
L-グルタミン標準液	エタノール	64-17-5	—	危険物・引火性の物	—	0.1%以下

*1 化学物質排出把握管理促進、*2 労働安全衛生法、*3 毒物及び劇物取締法

4. 応急措置

眼に入った場合 : 直ちに大量の水で 15 分間以上洗い流す。
 外観変化や痛みが生じた場合には、医師の手当てを受ける。
 皮膚に付着した場合 : 直ちに付着または接触した部分を多量の水で十分に洗い流す。
 外観変化や痛みが生じた場合は医師の手当てを受ける。
 吸入した場合 : 直ちに患者を新鮮な空気のところに移し、毛布などで保温し、速やかに医師の手当てを受け
 る。呼吸が停止している場合は人工呼吸を行う。呼吸困難な場合は酸素吸入を行う。
 飲み込んだ場合 : 口の中を水でよく洗い流し、速やかに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

エタノール

- 消火方法： 危険でなければ容器を安全な場所に移動する。容器が熱に晒されているときは、移さない。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。
- 特有の危険有害性： 加熱により容器が爆発するおそれがある。極めて燃えやすい、熱、火花、火炎で容易に発火する。消火後再び発火するおそれがある。火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
- 消火剤： 水噴霧、対アルコール性泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂類

アジ化ナトリウム

- 消火方法： 不燃性であるが、周辺火災は容器を安全な場所に移動する。移動が困難な場合は、容器及び周囲に散水し冷却する。
- 特有の危険有害性： 火災時に強熱されると刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
- 消火剤： 塩化ナトリウム、無水炭酸ナトリウム、乾燥砂等で覆う

水酸化ナトリウム

- 消火方法： 不燃性であるが、周辺火災は容器を安全な場所に移動する。移動が困難な場合は、容器及び周囲に散水し冷却する。
- 特有の危険有害性： 火災時に強熱されると刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
- 消火剤： 利用可能な情報はない。

6. 漏出時の措置

作業の際には必ず保護具を着用し、風上で作業する。少量の場合は試薬を完全に除去した後、洗浄する。または、多量の水を用い、十分に希釈し、洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い： 蒸気を吸い込んだり、眼、皮膚及び衣服に触れないように、適切な保護具を着用する。
取扱い後は、手洗い、洗顔を十分に行う。換気の良いところで作業を行う。
- 保管： 直射日光を避け、2～10℃で保管する。その他該当法規に従って取扱及び保管をする。

8. 暴露防止及び保護措置

エタノール

- 管理濃度： 未設定
- 許容濃度： 日本産業衛生学会； 未設定
ACGIH (TLV-STEL)； 1000ppm

アジ化ナトリウム

- 管理濃度： 未設定
- 許容濃度： 日本産業衛生学会； 未設定
ACGIH (TLV-C)； 0.29 ppm
- 保護具： 防護衣、保護手袋、必要に応じて眼用保護具等を着用する。
- 設備対策： 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行う。

水酸化ナトリウム

- 管理濃度： 未設定
- 許容濃度： 日本産業衛生学会； 2 mg/m³
ACGIH (TLV-STEL)； 2 mg/m³

9. 物理的及び化学的性質

エタノール

- 外観： 無色透明の液体

臭い：	刺激臭
pH：	データなし
融点・凝固点：	-114.14 °C
沸点、初留点及び沸騰範囲：	78.5°C
引火点：	13°C
爆発範囲：	3.3～19%
蒸気圧：	59.3mmHg(25°C)
蒸気密度：	1.59 (Air=1)
比重：	0.789 (20°C/4°C)
溶解度：	水と混和する
n-オクタノール/水分配係数：	log Kow = -0.31
自然発火温度：	363°C
分解温度：	データなし

アジ化ナトリウム

外観：	無色ないし白色の結晶粉末
臭い：	ほとんど無臭
pH：	データなし
融点・凝固点：	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲：	データなし
引火点：	該当しない
爆発範囲：	該当しない
蒸気圧：	1 Pa (20 °C)
蒸気密度：	2.26
比重：	1.846 (20 °C)
溶解度：	41.7 g/100 mL (17 °C)
n-オクタノール/水分配係数：	LogPow = 0.16
自然発火温度：	データなし
分解温度：	275°C (分解開始)、約 300°C (爆発的分解)

水酸化ナトリウム

外観：	白色半透明の固体
臭い：	無臭
pH：	pH ; 13 (0.5%), 14 (5%)
融点・凝固点：	318 °C
沸点、初留点及び沸騰範囲：	1390 °C
引火点：	不燃性固体
爆発範囲：	不燃性固体
蒸気圧：	133 Pa(739 °C)
蒸気密度：	データなし
比重：	2.13
溶解度：	109 g/100 mL(20 °C メタノール)
n-オクタノール/水分配係数：	LogPow = -3.88
自然発火温度：	不燃性固体
分解温度：	データなし

10. 安定性及び反応性

エタノール

安定性：	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
危険有害反応可能性：	次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニアと徐々に反応し、火災や爆発の危険をもたらす。硝酸、硝酸銀、硝酸第二水銀、過塩素酸マグネシウムなどの酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。

避けるべき条件：	情報なし
混触危険物質：	次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニア、硝酸、硝酸銀、硝酸第二水銀、過塩素酸マグネシウムなどの酸化剤
危険有害な分解生成物：	情報なし

アジ化ナトリウム

安定性：	加熱により 300 °C で分解する。徐々に加熱すれば、窒素を発生しながら金属ナトリウム（禁水）を生じる。
危険有害反応可能性：	乾燥すると熱、火災、摩擦または衝撃により爆発するおそれがある。銅、鉛、水銀、二硫化炭素と反応し、特に衝撃に敏感な化合物を生成する。
避けるべき条件：	重金属との混触、酸性条件
混触危険物質：	鉛、真鍮、銅、銀と接触すると火災と爆発の危険性がある。
危険有害な分解生成物：	燃焼により水酸化ナトリウムのヒュームを発生する。

水酸化ナトリウム

安定性：	潮解性が強い。固体及び水溶液は空気中の炭酸ガスを吸収して炭酸ソーダになる。
危険有害反応可能性：	酸と激しく反応し、湿った空气中で亜鉛、アルミニウム、スズ、鉛などの金属と反応して腐食性を示し、引火性/爆発性液体気体（水素）を生成する。アンモニウム塩と反応してアンモニアを生成し、火災の危険をもたらす。
避けるべき条件：	光、湿った空気、混触危険物との接触。
混触危険物質：	酸、金属類
危険有害な分解生成物：	強熱により酸化ナトリウムと水素を発生する。

1 1. 有害性情報

エタノール

急性毒性：	
経口	区分外
経皮	区分外
吸入	区分外
皮膚腐食性・刺激性：	区分外
眼に対する重篤な損傷・刺激性：	中等度の刺激性
呼吸器感作性または皮膚感作性：	分類できない
生殖細胞変異原性：	分類できない
発がん性：	食道などに悪性腫瘍を誘発する
生殖毒性：	胎児性アルコール症候群のおそれ
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）：	眼及び気道への刺激症状、軽度から重度の中毒症状、中枢神経系の抑制症状
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）：	肝臓障害（脂肪変性、壊死・線維化、肝硬変）、中枢神経系障害（乱用、依存症）
吸引性呼吸器有害性：	分類できない

アジ化ナトリウム

急性毒性：	
経口	ラット LD ₅₀ 45 mg/kg (DFGOT vol.20 (2003))
経皮	ウサギ LD ₅₀ 20 mg/kg (ACGIH (2001))
吸入	吸入(ガス) ; GHS 定義における固体である。吸入(蒸気) ; データなし、吸入(粉じん) ; ラット LD ₅₀ 37 mg/m ³ (RTECS (2008)) が報告されているが、ばく露時間が不明である。
皮膚腐食性・刺激性：	重篤な皮膚の薬傷
眼に対する重篤な損傷・刺激性：	重篤な眼の損傷
呼吸器感作性または皮膚感作性：	情報なし
生殖細胞変異原性：	分類できない

発がん性：	ACGIH により A4 に分類されている (ACGIH-TLV (2005)) ので区分外とした。
生殖毒性：	情報なし
特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)：	循環器系の障害
特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)：	長期または繰り返しの暴露による循環器系、肝臓の障害
吸引性呼吸器有害性：	情報なし

水酸化ナトリウム

急性毒性：	
経口	ウサギ LD50 325 mg/kg
経皮	分類できない
吸入	ガス、ミスト：分類対象外 蒸気、粉じん：分類できない
皮膚腐食性・刺激性：	重篤な皮膚の薬傷
眼に対する重篤な損傷・刺激性：	重篤な眼の損傷
呼吸器感作性または皮膚感作性：	分類できない
生殖細胞変異原性：	区分外
発がん性：	分類できない
生殖毒性：	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)：	呼吸器系の障害
特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)：	分類できない
吸引性呼吸器有害性：	情報なし

1 2. 環境影響情報

分解性：	データなし
残留性：	データなし
魚毒性：	ブルーギル LC ₅₀ 0.7 mg/L/96h (アジ化ナトリウム) ネコゼミジンコ LC ₅₀ 40.4 mg/L/48h (水酸化ナトリウム)

1 3. 廃棄上の注意

大量の水で希釈して廃棄する。または、廃棄業者に依頼する。

1 4. 輸送上の注意

直射日光を避け、2～10℃で輸送する。
容器の落下、衝撃等により破損しないように丁寧に扱う。
その他法令に定められた注意事項に従う。

1 5. 適用法令

消防法：	<u>第2条7項危険物</u> 第5類自己反応性物質、ジアゾ化合物；アジ化ナトリウム 第4類引火性液体、アルコール類；エタノール
化管法：	<u>法第2条第2項</u> 第1種指定化学物質；アジ化ナトリウム
労働安全衛生法：	<u>施行令別表第1</u> 危険物 爆発性のもの；アジ化ナトリウム 危険物 引火性の物；エタノール <u>施行令第18条</u> 名称等を表示すべき有害物；アジ化ナトリウム (1%未満のため非該当)、エタノール (1%未満のため非該当)、水酸化ナトリウム (1%未満のため非該当) <u>施行令第18条の2</u>

名称等を通知すべき有害物；アジ化ナトリウム（1%未満のため非該当）、エタノール（1%未満のため非該当）水酸化ナトリウム（1%未満のため非該当）

規則第 594 条の 2

皮膚障害化学物質等及び特別規則に基づく不透過性の保護具等の使用義務物質；アジ化ナトリウム（1%未満のため非該当）、水酸化ナトリウム（1%未満のため非該当）

施行規則第 326 条

腐食性液体；水酸化ナトリウム

毒物及び劇物取締法：

指定令第 1 条 毒物

アジ化ナトリウム（0.1%以下のため非該当）、水酸化ナトリウム（5% 以下のため非該当）

海洋汚染防止法：

施行令別表第 1

有害液体物質；エタノール

大気汚染防止法：

法第 2 条揮発性有機化合物；エタノール

船舶安全法：

危規則 3 条危険物告示別表 1

毒物類・毒物；アジ化ナトリウム

危規則 2, 3 条危険物告示別表 1

引火性液体類；エタノール

腐食性物質；水酸化ナトリウム

航空法：

施行規則第 194 条危険物告示別表 1

毒物類・毒物；アジ化ナトリウム

引火性液体；エタノール

腐食性物質；水酸化ナトリウム

16. その他の情報

参考資料：

- 1) 国際化学物質安全性カード (ICSC) 日本語版 国立医薬品食品衛生研究所
- 2) 化学物質安全管理データブック 化学工業日報社 (2000)
- 3) 中央労働災害防止協会 労働安全情報センター ホームページ
- 4) (独) 製品評価技術基盤機構 ホームページ

上記の記載内容は現時点で入手できるデータに基づいて作成しておりますが、全てを網羅してありませんので、取扱いには十分注意して下さい。

また、注意事項は通常の手配を対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、用法、用途に応じた安全対策を実施して下さい。